

常北高等学校が 水戸桜ノ牧高等学校 常北校 になりました！

昭和25年に水戸農業高等学校石塚分校として開校し、63年の歴史を刻んだ常北高等学校が、4月から水戸桜ノ牧高等学校常北校として、新たなスタートを切りました。

常北高等学校として最後となる第50回卒業式が3月1日に挙行され、61名の卒業生が思い出深い母校を後にしました。



常北高校最後の卒業生となった61名(2月28日撮影)

常北高等学校63年のあゆみ

- S 25. 4. 11 茨城県立水戸農業高等学校
石塚分校として開校
- S 38. 4. 1 茨城県立常北高等学校となる
- H 24. 10. 20 創立50周年記念式典
- H 25. 3. 1 第50回卒業式
卒業生総数 7,607人
- H 25. 4. 1 茨城県立水戸桜ノ牧高等学校
常北校となる

最後の卒業式 3月1日



担任の先導で入場する卒業生



校長から一人ひとりに卒業証書が授与されました



最後の校長として式辞を述べる堂英夫校長



ご臨席いただいた来賓の皆様



卒業生代表答辞 小林卓矢君(桂中出身)

今私たちは、支えられる側から支える側へと一歩を踏み出す決意をいたします。常北高校の卒業生として、苦難を乗り越え、家族や故郷をいつくしみ、社会に貢献する立派な人間に成長することを誓います。

在校生代表 須藤涼太君(常北中出身)

先輩方から教えていただいた一生懸命努力すること、仲間を信じることの大切さを忘れず、常北高校の素晴らしい伝統をしっかりと受け継ぎ、より良い常北校にしていけることを誓います。



在校生による「旅立ちの日に」の合唱で送られる卒業生

このページは、旧常北高等学校の生徒や職員の皆さんにご協力いただき作成しました。